

【平成27年度募集案内】愛知県立農業大学校

ニューファーマーズ研修



※この研修は青年就農給付金（準備型）の受給対象の研修です。

1 目的

Ｕターン就農希望者（農家出身）や新規参入希望者（非農家出身）等の方に**農業経営に必要な基礎的知識・技術などを効率的に習得していただき、円滑に就農できるよう支援**します。

2 受講資格

心身ともに健康で、愛知県内で農業経営（**農業所得概ね250万円以上**）を目指す方で、**18歳以上45歳未満**の方（平成27年4月1日現在）。

ただし、**概ね55歳以下の方**で、農業経営に必要な**農地を所有している方又は借地できる見込みがある方**であれば、**受講できます**。

3 定員

20名

4 募集期間

（1）研修生

平成27年3月 6日（金）から平成27年3月25日（水）まで

（2）聴講生（研修生が定員を満たさなかった場合に募集）

平成27年4月28日（月）から、定員を満たすまで随時募集

※聴講生については青年就農給付金の対象となりません。

5 研修期間

平成27年4月24日（金）から平成28年2月26日（金）までの10か月間。

6 専門コース

花きコース、作物コース、果樹コース、野菜コース

7 研修内容

講義・演習等（計180時間）及び実習。詳細は、研修カリキュラムを参照してください。

実習は、次の**2つからどちらかを選択**してください。

- （1）自己ほ場（研修生のほ場）（両親等から技術的な指導を受けることが可能な方）
- （2）先進農家（研修生で選定）

8 申込み方法及び注意事項

(1) 提出書類等

就農予定地（未定の場合は居住地）を所管する農林水産事務所農業改良普及課（以下「農業改良普及課」という。所在地等は別紙参照。）へ、次の**アからウの書類等**を持参してください。記載内容の確認がありますので、郵送では受け付けしておりません。

ア 受講申込書【様式1】

イ 履歴書【様式2】

ウ 就農希望概要書【様式3】

(2) 実習において、「先進農家での実習」を希望する場合は、事前に農業改良普及課と相談するなどして、受け入れ農家を選定した上で、申し込んでください。

(3) 受講申込みされた方は、農業大学校で、以下の日程で**説明会**及び**面接**を実施しますので、**必ず出席**してください。**受講の可否**は、書類審査・面接等により決定し、面接の1週間後までに**本人に連絡**します。

・研修生 平成27年4月10日（金）午後1時30分から

・聴講生 申込み後、別途連絡します。

(4) **受講料は無料**ですが、教材費等は研修生の負担となります。

（教材費等の自己負担予定額 約18,000円）

(5) 受講が決定した方は、**必ず各自で傷害保険・傷害共済等に参加してください**。研修中の事故について、当校は一切の責任を負いません。

(6) **青年就農給付金（準備型）の受給を希望する研修生**は、実習時間を900時間以上確保する必要があります。なお、受給を希望する場合の実習先の先進農家とは、愛知県が認定した先進農家に限ります（自己ほ場は対象外です）。

(7) 研修生が定員に満たなかった場合、平成26年度研修修了者及び受講資格を満たす方から**聴講生（講義の聴講だけの受講）の申込を4月28日（月）から受け付けます**。
なお、聴講生も研修生に準じた受講手続きが必要です。

9 修了要件

次の2つの条件を満たした場合は、修了証書を授与します（聴講生は該当しません）。

(1) 履修時間の8割以上を受講

(2) 就農のための経営計画書を提出

10 研修場所

愛知県立農業大学校（最寄り駅 名鉄 美合駅下車徒歩10分）

岡崎市美合町字並松1-2

11 連絡先

愛知県立農業大学校研修部研修科研修グループ（閏間）

電 話：0564-51-1034（研修部直通）

FAX：0564-51-4831

●研修カリキュラム

基本的には、これまで農業に関わる実務的な教育を受けていない人を対象とした**基礎的な内容**です。

講義・演習・校外学習は、原則として、火曜日又は木曜日のいずれかに行います。

(午前の部 8:50～10:20、10:30～12:00、午後の部 13:00～14:30、14:40～16:10)

なお、内容等は都合により変更することもあります。

区 分 ・ 科 目		時間	内 容		対象	
行事等	開 講 式	3.0	校長あいさつ、オリエンテーション、自己紹介		全コース	
	就 農 支 援	36.0	就農経営計画作成、プロジェクト、個別面談等			
	発 表 会 ・ 閉 講 式	6.0	校長あいさつ、就農経営計画・プロジェクト発表、修了証授与			
	履修時間小計		45.0	日数換算 7.5 日		
学 科	講義	農 業 情 勢 と 愛 知 県 の 農 業	3.0	世界の食料事情と日本の農業情勢、愛知県の農業の特色		全コース
		農 産 物 の 流 通	3.0	農産物の流通経路、市場システム		
		農 作 業 安 全	1.5	農作業事故の発生原因と防止対策		
		農 業 経 営 の 基 礎	6.0	農業経営の概念、経営計画、経営管理、決算書		
		農 業 簿 記 の 基 礎	12.0	仕訳帳の基礎、決算処理、棚卸台帳、減価償却表の作成		
		税 制 の 基 礎	6.0	所得税、消費税、相続税、固定資産税の概要、青色申告		
		農 産 物 の マーケティング	3.0	マーケティングの概念、構成要素、経営戦略		
		経 営 (財 務) 分 析	3.0	複式簿記の意義、経営分析、会計と税務、分析の方法		
		農 地 制 度 の 基 礎	3.0	農地の現状、制限事項、農地の貸借		
		農 業 金 融 制 度 の 概 要	1.5	制度資金の種類と目的、種類別の利用方法		
		就 農 支 援 制 度 の 概 要	3.0	新規就農者の動向、就農計画認定制度、就農支援資金		
		新 規 就 農 者 の 経 験 談	3.0	就農準備、就農後の実情、農業への思い		
		先 輩 就 農 者 か ら の 提 言	3.0	農業者の思い、日本農業の実体と課題、将来展望		
		農 業 情 報 の 利 用	3.0	農業情報の収集、分析、利用、発信		
		食 育 概 論	3.0	食育の概念、健康増進、食事バランスガイド、野菜の効用		
		農産物のカラーコーディネート	3.0	色彩の基礎、言葉(イメージ)と色の関係、配色の基礎		
		相 手 に 伝 え る 話 し 方	3.0	わかりやすい話し方のポイント、聴き方、言葉の選び方		
		プ ロ ジ ェ ク ト 活 動 の 意 義 と 進 め 方	1.5	プロジェクト活動の意義、展開過程、種類、効果		
		植 物 生 理	9.0	植物の構造、植物と無機栄養、光合成、植物の成長		
	科	農 業 と 環 境	3.0	農業が環境に与える影響、環境に配慮した農業生産		
		病 害 の 診 断 と 防 除	9.0	農作物の病害と診断・防除		
		害 虫 の 診 断 と 防 除	6.0	農作物の害虫と診断・防除		
		雑 草 防 除	3.0	雑草の種類と生態、除草技術		
		農 薬 の 正 し い 使 い 方	3.0	農薬の基礎知識、ポジティブリスト制度、安全使用		
		土 壌 肥 料	6.0	土壌の生成・種類・構成、土壌の物理的・化学的性質		
			6.0	肥料と施肥、作物・土壌条件に見合った施肥設計技術		
		環 境 保 全 型 農 業	3.0	土づくり、減化学肥料栽培技術		
			3.0	病害虫の発生予察、減農薬栽培技術		
		農 業 気 象	1.5	農業気象の基礎		
	演習	土 壌 診 断	6.0	土壌診断の基礎、サンプリング、分析・診断		
	講義	花 き 栽 培 論 I	12.0	花き栽培の基礎		花き
		作 物 栽 培 論 I	12.0	作物(水稻、麦、大豆)栽培の基礎		作物
		果 樹 栽 培 論 I	12.0	果樹栽培の基礎		果樹
		野 菜 栽 培 論 I	12.0	野菜栽培の基礎		野菜
履修時間小計		135.0	日数換算 22.5 日			

区 分		科 目	時間	内 容		対象
		新規就農するためのノウハウ	(3.0)	意志決定、就農準備、計画、農地の取得、就農後のこと		希望者
		市町村における就農支援	(1.5)	内容未定		
		花き栽培論Ⅱ	(4.0)	花き栽培の実用的技術		
		作物栽培論Ⅱ	未定	作物(水稻、麦、大豆)栽培の実用的技術		
		果樹栽培論Ⅱ	(12.0)	果樹栽培の実用的技術		
		野菜栽培論Ⅱ	(12.0)	野菜栽培の実用的技術		
		生産高度化	(24.0)	花き・作物・果樹・野菜の栽培等に関する最新の専門的な知識・技術		
	演習	パソコンによる農業簿記	(9.0)	パソコンによる農業簿記の実務		
		ホームページを活用した農産物のPR	(6.0)	パソコンによる農産物のPR手法を学ぶ		
校外学習	研修部・校外学習		(30.0)	先進農家(農業法人・新規就農など)、農業総合試験場など		希望者
	花き専攻・校外学習		(24.0)	先進農家(鉢物・切花など)など		
	作物専攻・校外学習		(24.0)	先進農家(農業法人など)、カントリーエレベータなど		
	果樹専攻・校外学習		(24.0)	先進農家(ナシ・イチジク・ブドウ・カキ・ミカンなど)など		
	野菜専攻・校外学習		(24.0)	先進農家(メロン・キュウリ・ナスなど)など		
合 計			180.0	日数換算 30.0 日 (ただし、希望者分は含まず)		
実習	どちらか選択	自己ほ場	900.0	自己ほ場で実習 (両親等から技術的な指導を受けることが可能なこと。)		全コース
		先進農家	900.0	先進農家で実習(ただし、先進農家は各自で選定する。)		
	目標履修時間合計			900.0	日数換算 150.0 日	
免許・技能 注	免許	大 特 免 許	18.0	大型特殊免許(農耕車限定)取得のための講習 (別に試験を受ける必要あり)		希望者
	免許	けん引免許	24.0	けん引免許(農耕車限定)取得のための講習 (別に試験を受ける必要あり)		
	技能	大 特 ト ラ ク タ 作 業	24.0	耕起作業等作業機の操作方法及び農業機械の構造、整備等の知識習得		
	技能	農 業 機 械 士 等	12.0	農業機械利用技能に関する知識・技能の習得 (大特免許などの要件あり)		
	技能	小 型 車 両 系 建 設 機 械	13.0	バックホー等の知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得		
	技能	ア ー ク 溶 接	21.0	アーク溶接の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得		
	技能	フ ォ ー ク リ フ ト	11.0	フォークリフトの知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得		
	技能	刈 払 機	7.0	刈払機の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得		

注 取得可能な免許等(ただし、別途受講料・手数料など必要です)
 大型特殊免許(農耕車限定)、けん引免許(農耕車限定)、小型車両系建設機械特別教育修了証、
 アーク溶接特別教育修了証、フォークリフト技能講習修了証(1t以上)、刈払機取扱作業安全
 衛生教育修了証